

読者の心を願って

## 「夢」と「目標」

先日、あるダスキンの加盟店主と話をしているうちに、高校、大学時代のクラブ活動の話になりました。

彼の話は、最初の頃は監督から「夢をもって目指せ」と言われつつあったが、後半になると「いつまで夢を見ているんだ」と言われたというのです。監督は、そういう言い方で選手の技量と現実との落差を選手に教えていたんだろうと感心すると同時に、自分の高校時代を思い出しました。私も監督から同じような事を言われていたのです。

「夢を追うな。目標を持って。全国優勝を目指せ!」と。そして、「その目標を達成するため、月別の目標を立てること。それを達成することの積み重ねが全国優勝に繋がる」と言われてきました。結局、自身自身の目標達成への思いが低かったため、全国優勝はできませんでした。

それからは小さなことでも夢としてではなく目標として定めるようになりました。膨らんだり縮んだりするのが夢。達成するか否かが目標。これからは、仕事も個人的にも、明確な目標として定め、日々精進していきたいと思います。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

写真・阿部高嗣 今日みんなで会議



no.517

# 喜びの タネまき 新聞

花は土の力を吸い上げ、天に向かって咲きます。生い育った土地や国に思いをはせれば、一輪の花から、心の扉がひろびろと開いていきます。

### 「ハスの花」

ときどき花を描くことがある。主にゴゼンタチバナやイワウチワなどの山野草なのだが、ある夏の日、ひとつの花に心を揺り動かされた。それがハスの花だった。神々しく光を放つピントクの花。大作りのように繊細な姿は宇宙に語りかけているようだった。無性に描きたくなった。そこに理屈は無い。少しでも



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に帰るはのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

寄り添いたい。その気持ちだけで花を描きはじめた。

ところがこれがちつとも描けない。どの花を描くときも、そう簡単に気持ちよく描けるものではないが、ハスの花は特に手強かった。

それでも、珍しく早起きして上野恩賜公園の不忍池まで出かけた。ハスは「三日花」と言われ、早朝に花を咲かせ、昼頃には閉じる。



これを三日間くり返して散る。だから早起きにこしたことはない。池には、すでに多くのカメラマンが思い思いの場所に陣取っていた。

今までハスのことを、これほど気にしたことはなかった。しかし、池を埋め尽くす圧倒的な葉と、その間から浮き上がった花はあやしいほど美しかった。この日、肝心の絵は描き切れなかったが、少しハスに寄り添えた気がした。

さて、思いは叶うものだろうか。偶然、ベトナム取材の話が舞い込んだ。ハスはベトナムの国花。きつと気持ちよく描けそうだと。

ベトナム北部のハノイに着くと、南国の熱気に思いなしかハスの香りがした。ベトナム女性はとにかくよく働く。生活力があって、底抜けに明るい。そのぶん男はどこかのんびりしている。

ハスの花は街のあちこちで見かけた。公園はもちろん、美しい食器や壁掛け。街そのものにハスの花を感じた。それは仏様の花ではなく、とても柔らかく優しい香りに包まれていた。街行く、白いアオザイの制服を着た女学生を見かけた。一輪の花のように凛としていた。

## ほんのりほわっと大人の味「梅ゼリー」

梅酒を使用するので、今回は大人向けです。家庭で漬けた梅酒でも市販の梅酒でもOK! 炭酸水のさわやかな口あたりと、梅の酸味、ハチミツのほの甘さが魅力です。これからの季節にぴったりのデザート。



お料理研究家 こいけりえ

## おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



### ◎作り方(4人分)

ゼラチンパウダー10gを大きじ6の水でふやかしておく。梅酒漬の梅2個は種をとって細かくきざむ。きざんだ梅に、上からハチミツ大きじ1をかけて、よく混ぜ合わせておく。鍋に水200mlと砂糖大きじ2を入れて火にかける。砂糖が溶けたら火から下ろす。そこへ、ふやかしておいたゼラチンを加え、よく混ぜ合わせる。そのとき、鍋底を氷水を入れたボウルに浸けて混ぜるとはやく出来ます。ゼラチンを加えた砂糖水の中に、梅酒100mlを入れさらに混ぜ合わせる。その中にハチミツであえた梅を入れ混ぜ合わせ、仕上げに炭酸水またはサイダー200mlを入れてさつと混ぜ合わせる。炭酸水の場合、砂糖は大きじ2ですが、サイダーで作る場合、砂糖は大きじ1にする。



### ◎盛り付け

ガラスの器にスプーンを使って盛り付け、仕上げにハチミツ小さじ1を上からかけ、ミントの葉をのせて完成です。お子様には梅酒の代わりに、お好みのジュースで作りましょう。炭酸水やサイダーを使い、やはりくずしてかわいく盛り付けます。ゼリーをくずすと口当たりが良く飲み込みやすくなります。



炭酸水を入れたら、時間をおかずに素早く混ぜて、ボウルに入れて冷ますのがポイント。ラップをして冷蔵庫で約1時間冷やし固める。固まったゼリーはフォークなどを使ってくずし、下に沈んでいる梅がまんべんなく混ざるようにする。



## みてもらおう!



「まだ6ヵ月。初節句だよ」北海道函館市 今井敏子



「おばあちゃんといっしょ」兵庫県姫路市 泥吉子



「あんよはお上手。でもコケちゃいました。」熊本県上天草市 前田美恵子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております!(詳細は7ページ)



大正5年に建てられ、昭和13年に創業して以来、70年も町のひとに親しまれた珈琲店が6年前に閉店した。途絶えるのを惜しんだ町民や建築家が協力して平成21年9月に復活。海外からの旅行者にも静かな人気をよんでいる。

東京都台東区谷中

# カヤバ珈琲



光のなか、  
おだやかに  
時は流れる。



## 桜

が散り、新緑が町を染める谷中は、上野にほど近く。東京にもまだ残っていたのかと思うような下町情緒のある懐かしい街並みが続く。近くの地下鉄根津駅でおじさんに聞くと、「カヤバ珈琲ね。この坂を登り切ったらあるよ」と、自宅の隣のような親しげな口調である。お寺さんや古風な生け垣を眺めながら期待感とともに登って行くとあった！町のシンボルとも言うべき小さな茶色い家が。

大正5年築・出桁造りの町屋。出桁造りとは軒の造りで、江戸時代からの典型的商家建築。屋根瓦が美しい。説明するとなにやら厳めしいが、この家を見た瞬間、嬉しくなるような愛らしい小さな家である。

「カヤバ珈琲」の創業者は榎場伊之助さん。開店した昭和13年は次第に軍色が強まる中、木炭バスが走り、人力車も町を走っていた。洋装もまだ珍しく、銀座にホットドッグ屋ができて話題をよんだ時代。だから当時の珈琲屋さんのハイクラ度は並じゃなかったはず。

店長の村上さんは「うちの名物はルシアンというコーヒー。昔からそういう名前です。」由来は分からないけれど、播るぎのないものがある。あつて、テーブルや茶色の椅子は昔のまま。昭和の日本人サイズで小ぶりだという。100年近くたつ柱や梁はしっかり保存され、協力して知恵を出し合ったひと達の思いが伝わる。



道を隔てた前はやはり古い建物で酒屋さん。「こら辺は美術館もあつて空襲とか免れたんですね」芸大が近くで、芸術談義の場でもあり、夜はライブも開かれる。2階は畳敷きで、あんみつが似合う空間。「海外の方も楽しんでます。が、寒天は苦手みたい。英語は話せないけど分かるんです」小さな物干し台もあり椅子が置かれている。夏はかき氷も登場。町のひとびとが愛したものは、そのまま受け継がれているのである。

「おはようございませう。コーヒーください」朝10時、おばさんが入ってくる。途中で買った牛乳を持っていく。手作りスイーツをご所望。次に来たおじさんはモーニングセットを頼み、入れ替わりにお母さんがおんぶした赤ちゃんを背中であやしながら、立って新聞を読んでいた。みな静か。音楽もなく寡黙な午前中が過ぎる。コーヒーの香りが漂う。よく、時が止まったようだというが、ここではそうではない。おだやかにゆつくりとこの町のひとたちのリズムで流れる淡々とした日常がある。

広いガラス窓は一枚を除いて、昔の手延べガラスだという。今時の建物は皆おしゃれて快適で、昼でも夜でも同じだけれど、カヤバ珈琲には刻々と変化する光がある。雨の日は雨の風情。窓外の信号が変わり、車が通って、人が通って、この町のこの一日が始まっていく。



店長の村上さん(右)と門倉さん(左)。黄色い看板は昭和時代から。



昔から変わらない小さな白いカップ。ルシアンはコーヒーとココア半々。たまごサンドはしっかり焼いた卵で、これがまた美味。



カウンターのレンガは時代に合わせて3段足してあるそうです。





### にわか雨

三重県鈴鹿市 佐野由美子

とても良い天気だったので、洗濯物を干したまま、仕事に出かけることにしました。すると…、なんてことでしょ！お昼前になって、パラパラと雨が降ってきたのです。通り雨とはいえ、きつと洗濯物はびしょぬれ。あーあ、干さなきゃよかった。と後悔しても、後の祭り。どうすることも出来ず、「仕方ない、あきらめよう」と腹をくくりました。お昼休み、いつものように携帯電話を見ると、〈新着メールあり〉の表示…。開いてみると、『洗濯物、裏のも表のもの、預かってます』というメールが隣さんから、きていました。夕方帰宅すると、うちの洗濯物は隣の家の軒下で、のんびり風に揺られていました。「ありがとう！本当にありがとう!!」と感謝。ご近所さんで、ありがたいなあ、と心がほんわり温かくなる出来事でした。

——もう、お日さまみたいなお隣さん！——



### お菓子

京都府京丹後市 嶋本茂男

毎月15日は『女中講』として女性だけが集まって、お寺でお勤めがある。最近では、若い世代の参加者が少なくなつた。私の小さい頃を思い出すと、私の母はほとんど出席していた。なぜ覚えているのかというと、そのお勤めで出された茶菓子を、母が持つて帰ってきてくれるのが嬉しくて、心待ちにしていたからだ。甘いお菓子などは、普段は食べられなかったが、月に一回、15日の女中講の日だけは食べられたのだ。最近の子ともたちは近くのスーパーで売られているたくさんのお菓子を買ってこられる。食べ残してしまうほどだ。母が生きていたら、「もったいないないない」と言うだろう。女中講のお菓子を待つていた私も、もうすぐ定年。孫ができれば、お菓子を一緒に食べたいものだ。

——女中講は主婦の集まりで、お祭りなでもしたことが。——



### 母

島根県出雲市 石橋厚

一昨年の秋、98歳の母が逝つた。戦争未亡人として戦後を生き、私達を育ててくれた母は『朝星夜星』の母だった。未明から夜まで働く姿をそう言ったものだ。母は早朝から田の草刈り。家に帰ると弁当を詰め、私達を学校へ送り出す。そして、道路普請や荷車を引いての重労働。牛の世話に山仕事など、息をつく暇もなかったように思う。普段はあまり話さなかったが、以前母は自分分が手先が器用で、若い時は針仕事やうどん作りが得意だったと言っていた。農家に嫁がなければ、自分の好きな道に進むことが出来たのではないか。明治に生まれ、大正、昭和、誰もが必死に生きた時代を、働きづめで一生懸命生きた母を懐かしく思い出す。

——かあさん、ありがとう……。——



### おみやげ

千葉県山武市 宮本洋子

先日、5歳になる男の子の孫とホームセンターへ買い物に行った時のことです。私が目的の物を持ってレジに戻ると、彼が鉢植えの花を抱えて立っていました。「どうしたの？」と私。「ママへのお土産」と孫。「今日はお土産はいいよ」と言つと、ちょっと残り残念そうに鉢植えを戻しに行きました。後で鉢植えの花を選んだ理由を聞くと、お店の人に、「一番キレイなお花はどれですか？」と聞くと、「たくさんあるので一番は決められないよ」と言われ、それなら「一番安いお花はどれですか？」と再び聞くと、先ほどの鉢植えの花を指して「この花だよ！」と教えてくれたとのこと。孫のやさしい気持ちと、店員さんとのやりとりの光景を思うと、なんだかハッピーになった私でした。

——かわいいなあ！——



### ダイエット

山口市 吉兼貴美子

母の日、高2の娘がくれたメッセージカードの内容が、私に闘志を湧かせた。「お母さんいつもありがとう。心から感謝しています。P.S. 痩せてくれたら嬉しいです」追伸の文字は小さく隅に付け加えられていた。感謝の言葉には胸を詰ませたが、小さく書かれた文字は娘の本心の表れと思ひ考えさせられた。この10年で体重は10kg増加。高血圧、コレステロールも要注意。腰痛も患い、若い頃とは別人である。早速、毎日体重計に乗り、食生活を改め、夜食、間食をなくし柔軟体操を始めた。娘には母の努力が良い結果に結びつくよう、長い目で見守つて欲しいと思う。

——日々努力ですね。がんばって！——



### きもちのいい電話

岡山県笠岡市 石田千代恵

「お体の調子はどうですか？」車屋さんから電話がきた。いつもは「お車の調子はどうですか？」とか、「ご主人はいらっしゃいますか？」なのに、世間話をしただけで切り、結局、私の体の心配をして電話をくれたようだ。この営業の人とは、以前にちょっとした出来事があった。点検を終えた車を返してもらつた時、「5時までにお届けにあげます」と言われ、待つていたが、なかなか来ない。遅れてやつて来ると、謝りもしなかった。約束は守つて下さいと注意をした。ちょっと嫌な雰囲気になったけど、あれから数年、かえつて良い関係になった。言いにくいことを思い切つて言ったのが、良かったのかもしれない。

——長いおつきあいですね。——



愛媛県松山市 奥平友子

「ヤッホー！きこえるう!？」

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先  
〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)  
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室  
電話 03(5909)6703  
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

お知らせ  
書籍「ほほえみのひろば」発売中  
●出版社: マガジンハウス ●価格: 1100円(税込)  
全国の書店で販売しています。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます  
<http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html>

●2ページの中村みつをさんのアトリエ  
〒167-0022 東京都杉並区下井草5-12-10-109

●4-5ページの「カヤバ珈琲」の連絡先  
〒110-0001 東京都台東区谷中6-1-29  
カヤバ珈琲(年中無休 月~土8:00~23:00 日8:00~18:00)  
電話: 03-3823-3545 <http://kayaba-coffee.com/>  
イベントや集会、お茶会もできます。

あなたのお便りや写真をお寄せください



### 燈々無尽

大いなるもの  
私はこんな考えをもっています。  
自分は、自分の力だけで、  
生きているのではない。  
大いなるものによって、  
(それを神と呼びます)  
生かされているのだ。  
「りきむな、ゆるむな、こたわるな、  
生かされるまま、水のごとくへに」

鈴木清一

### 愛の輪

からのコラム  
誰もが心地よい暮らしにつづ

### 第1回 車いすってどうやってバスに乗ると思いますか

乗降口に階段がなく、歩道からバスの床面が近いノンステップバス。乗客が温かく待つことで車いすは、歩道からスロープ板をつたってスムーズに車内へ入るんです。スロープは自動で出てきたり、手動で装着するものとさまざま。車内では座席をしまったスペースに車いすごとベル



トで固定でき安全。ベビーカーもたまたまず乗れてママにも優しいですね。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。  
☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>)  
愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。



🌱 **エコな取り組み** ～沖縄県宮古島市～  
**サトウキビの意外な使い道!**

宮古島市では、サトウキビで砂糖をつくったあとに残る液体を、車の燃料に使っているそうです。植物由来の燃料は「バイオエタノール」とよばれ、二酸化炭素の排出量を増やさないと注目されています。島では、およそ1600台の車のガソリンにサトウキビのバイオエタノールが混合されているんですって。



●ダスキンでもさまざまなエコ活動を実践中。webで「ダスキンのエコ」を検索してね。

**ダスキンのお客様係募集中!!**

詳しくはwebで

お客様係

検索



携帯からも  
アクセス

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。

**お楽しみクイズ**

植物由来の燃料を  
何と言う?

エタノール



正解者の中から30名様に  
**「キッチンきれいセット」を  
プレゼント!**



下記の要領でご応募ください。

- ハガキに  
①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢  
⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名  
⑨この新聞内で好きなコーナーをご記入の上、  
下記あて先までお送りください。
  - クイズ専用のあて先  
**〒163-0265 ※郵便番号のみで届きます。**  
**(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.517」**  
**クイズプレゼント係**
  - 締め切り 平成24年6月15日(金)当日消印有効
  - ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
  - 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
(平成24年7月上旬お届け予定)
  - 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
- ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。  
no.515のクイズの答えは「マット」でした。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室  
〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)  
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

**0120-100100** [www.duskin.jp](http://www.duskin.jp)